



# アクトレス

NO. 47

名古屋市演劇練習館機関紙

## エッセイ

### ■ KUDAN Projectのこと



「真夜中の弥次さん喜多さん」

少年王者館の天野天街に初めて会ったのは10年程前。

鶴舞公園で行われた野外ファッションショーを、天野さんが演出していて、それに参加した時だ。最初は何だかおっかなかった。だって、当時の王者館に対する私の印象は、劇団というよりは奇人変人と人攫いに攫われてきた少年少女が舞台上に立ってるんじゃないかと思ってたし、そのファッションショーの稽古中、公園の便所に入ったら天野さんが先にしてて、私が用を足して出てくまで何も言わず、しかもしたまま、ジーッとズーッと見てるんだもの。私も攫われるんじゃないかと思った。

それから1年後、東京で王者館の公演を観に行った時、飲み屋で意気投合。二人芝居をやらぬかと言われて、飲み屋のハシ袋に契約書を書かされて、やることになった。それがKUDAN Project第1作目「くだんの件」。相手役はてんぷくプロの小熊ヒデジ。

小熊さんのことは、その前に、あるプロデュース公演に書き下ろした短編作品を観ていて(確か2m程離れた男女にディープキスをさせていた)、へんてこりんな作品を書く人だなあと思ってた。で、当時名前を「おんぐまんひんでんじん」してたから、

### 寺十 吾 (俳優・tsumazuki no ishi)

やっぱりちょっとおっかなかった。

そして、稽古開始。戯曲を読んでみたら、なんだかさっぱり解らない。演ってみてもやっぱり解らない。とにかく書いてあるセリフを一生懸命言って、必死で躰動かして、嵐のようなキッカケをこなしていくだけで、もういっぱいいっぱい。おまけに初日は台北で、もうどうにでもなれて感じ。でも芝居が終ると、スタンディングで拍手喝采。もう、わけわかんねえ。

で、四年やって、やっとうこういう作品なんだって感じた頃に、今度は「しりあがり寿」さんの「真夜中の弥次さん喜多さん」という奇々怪々な漫画を原作に演ろうと、おんぐまんさんが言い出したん。えーいままよと、三年それを演ったら、今度は天野さんが、それを\*百人(実際には170人だった)でやると言い出したん。あーっもう止まらねえ、やめられねえ楽しすぎて吐きそうです。

※百人芝居 真夜中の弥次さん喜多さん  
(2005年8月10日～13日愛知県勤労会館にて開催。  
主催:KUDAN Project、NPO法人PAFA=ドラ  
コーン・フェスティバル組織委員会)

## トピックス

### ■ 雑感～舞台写真を撮る理由



「盲 獣」  
劇団 pH-7 アトリエ公演

実は舞台を観る人の多くに舞台写真を撮る素質があります。一言でいえば「このシーンを残したい」という感じがそう。ファインダーを覗いたまま機材を操作できる程度の慣れは必要ですが、知り合いの劇団とかで稽古から参加できる環境であれば既にスタートラインには立てています。後は1日30分の秘密のトレーニングで貴方も1年後には見違えるような…怪しいダイエットみたいですが、嘘じゃないですよ。

どうして芝居の写真を撮るのか。確かな答えはありませんが、ひとりの人間にちゃんとできることというのはそんなに多くないように思います。私は写真家である以前から観劇人で、憧れを交えた視線から普通の記録写真とはやや毛色の違ったものを撮ってきたようです。はや十数年よく続いたものですが、未だにひとつの舞台を撮り終えるごとにシャッターを押せなかった瞬間や、止まらなかった絵や、イメージを伝えない露出などいくつかの失敗の中に細心の注意を注いでいけば回避できたものがあります。集中力の不足は過失だけでなく能力の問題もあって仕方ない部分もあるのですが、ささやかで取り返しのつかないことの繰り返しを度々認識するのは気持ちのよいことではあ

### 西岡 真一 (写真家・所属 西岡兄妹)

りません。そして実はそれこそが私の技術面での伸びしろです。「見えているところまでは必ず撮れるようになる」絶えずほんの少し道の先を照らす明かりがあったことも続けてこられた理由かも知れません。そしてこれからの私に真に必要なのはより高いレベル「目」です。技術以上に近道のあることではないですが最近、弟妹(西岡兄妹)の影響もあって演劇以外のジャンルの才能に継続的に触れる機会に恵まれました。第三者の目から見れば今回の写真展にも徴候はあるのかも知れませんが、新しい刺激が今後どんな形で写真に顕われてくるのか楽しみにしています。



「5百人芝居(観客が)」© 弥次さん喜多さんの奇妙な冒険  
シャトナー研 2005年7月18日～19日  
(七ツ寺共同スタジオ協力公演)

## ■ 「アクテノン シニア演劇部」誕生!!

「アクテノン シニア演劇部」は50代～60代といったシニアの皆さんのための演劇教室です。講師に「劇団B級遊撃隊」代表の佃典彦氏をお迎えして開講いたしました。3ヶ月目に入った今、初対面の時の緊張も取れ、楽しい雰囲気での練習が進んでいます。

12月に中村文化小劇場で行う発表会では名古屋を代表する劇作家北村想氏原作の「ある夜の、デンエモン」を上演いたします。

キャストも決まり、いよいよ本読みから立ち稽古と進んでいきます。セリフや場面状態などを研究しながらシニア演劇部の皆さんは一歩一歩、一生懸命に頑張っているらしいです。

ぜひ皆さん発表会を観にきてくださいね。

## ■ 「アクテノン秋祭り」を開催します!

今年は中村区アクターズタウン実行委員会のご支援をいただき、アクテノン野外劇場をステージとした、「アクテノン秋祭り」を開催いたします。これは、アクテノンの利用者と地元の方々が、演劇・音楽・舞踊など様々なジャンルでの日頃の練習成果を発表するお祭りです。皆さんお誘い合わせのうえ、ぜひ、ご来場ください。

開催日：10月15日(土)～16日(日) (時間未定・雨天中止)

会場：名古屋市演劇練習館アクテノン 野外劇場

主催：中村区アクターズタウン実行委員会

財団法人名古屋市文化振興事業団

※詳しくは、名古屋市演劇練習館アクテノンまでどうぞ!  
(お問い合わせ)TEL:052-413-6631

## アクテノン利用団体紹介

①発足年 ②団員数 ③主な上演作品/会場(上演年) ④代表者名、住所、電話

### 演劇 遠山事務所



遠山事務所は劇団ではありません。遠山元が20数年間在籍した劇団演集での経験を基にプロデュース公演を制作するために設立した事務所です。ですから、公演の度に役者やスタッフを集めて第一歩から創りますので、普通の劇団にはない苦労が伴いますが、常に新しい顔ぶれによる新鮮な芝居創りが期待できる面白さがあります。今公演は井上ひさし作「雪やこんこん」花組・月組のW公演。さて、その面白さが二倍以上になりますか?『みんな、お客様がお待ちだ。締っていこうよ。いいね!!』

①1995年 ②21名 ③いのちぼうにふろう/愛知県芸術劇場小ホール('96) 郡上一揆/名古屋市芸術創造センター('99) かあちゃん/愛知県芸術劇場小ホール('03) ④遠山 元 〒454-0834 名古屋市中川区丸米町2-9 ☎(090)4406-9906

アクテノンに一言 芝居に理解のある稽古場はなかなかありません。アクテノンの皆様には、いつもお世話になりましてありがとうございます。

### 演劇 劇団木彫の熊



どうも、劇団木彫の熊です。いや～北海道の土産話しをしてから劇団を作る話しになって半ばその場のノリだけでついたこの名前、しかしよく続いているな～と思う今日この頃です。現在は、12月の公演に向けて着々と準備進行中!今までより更にアホアホな木彫ワールドに御期待下さい!…人はどこまで馬鹿をやれるのか…。尚、メンバー随時募集中です。ちなみにメンバーほぼ全員ボケなのでツッコミのできる方大歓迎!勿論ボケの方も大歓迎!と、いうわけでよろしくです。

①2001年 ②5名 ③親父イ/セツ寺共同スタジオ('02) 探偵雨宮享平危機一発/今池芸音劇場('03) 監獄狂詩曲～かんごくらぶそでい～/セツ寺共同スタジオ('04) ④鈴木 元 〒486-0846 愛知県春日井市朝宮町1-22-15 ☎(090)1826-3700

アクテノンに一言 う～んいいですねえ…前衛的外観…丸い、丸すぎるよ!アンタ!中に入ると方角がわからないよ!…いつも大変お世話になってます…これからもよろしくお願ひします…。

## 公演のご案内

★アクテノンの利用団体の公演をご案内します。 ①会場 ②日時 ③料金 ④問合せ先

<p>遠山事務所 『雪やこんこん』 — 湯の花劇場物語 —</p>	<p>① 愛知県芸術劇場小ホール ② 10月12日(水)～14日(金) 6:30、15日(土)～16日(日) 12:00 4:00 ③ 一般 3,500円(花組・月組共通券/5,000円) 学生 2,000円 ④ ☎090-4406-9906 (遠山事務所) 「一世一代、必死の願い、お客様の心がいただきたい!」</p>
<p>こりんちゃプロデュース 『カルミネ』</p>	<p>① 名古屋北文化小劇場 ② 10月22日(土) 7:00、23日(日) 1:00 5:00 ③ 前売 1,500円(当日 1,800円) ④ ☎090-4403-2191 (田口) Mail:kiri@gekidan-charinko.com 原作:相原きり(劇団ちゃりんこ)/脚色・演出:瀬口かしず(煉獄猿) 乞うご期待!</p>
<p>ちゃりの和&amp;たりんこ 『Letter～遺される唄～』 『Sleeping Beauty Project～眠りの森の姫計画～』</p>	<p>① ひまわりホール(損保ジャパン名古屋ビル19階) ② 11月19日(土) [ち] 6:00 [た] 7:15、20日(日) [ち] 1:00 [た] 2:15 [ち] 3:30 [た] 4:45 ③ 前売 800円(当日1,000円) ④ ☎090-2774-0269 (ちゃりの和)、080-5159-0734 (たりんこ) 二本の木が繋ぐ歴史「Letter」(ちゃりの和)、愛知万博参加作品の拡大版「Sleeping Beauty Project」(たりんこ)</p>
<p>劇工房創芝社 第22回公演 『ハーフムーン』</p>	<p>① 千種文化小劇場 ② 11月25日(金) 7:00、26日(土) 2:00 7:00、27日(日) 2:00 ③ 一般 3,000円 中高生 2,000円(前売・当日共) ④ ☎052-834-9918 (劇工房創芝社) あなた方は倦怠期ですか?でしたらハーフムーン旅行をお進めします。</p>

